日本塑性加工学会賞　候補者募集(2027年度受賞)

Ⅰ．賞の種類と対象:

論文賞（JSTP Best Paper Award）

日本塑性加工学会誌「塑性と加工」の第65巻第765号（2024年10月）から第67巻第788号（2026年9月）,およびMaterials TransactionsのVol.65, No.10（2024年10月）からVol.67, No.9（2026年9月）までに，本会の校閲を経て掲載された優れた論文および総説論文．ただし再録論文は除く．

学会大賞（JSTP MEDAL）

塑性加工の分野における顕著な業績として評価される学術的研究を行った個人もしくはグループ，あるいは独創性のある特定の技術または材料・機械・製品を開発した個人もしくはグループ．ただし業績の内容が公開できること．学術賞または会田技術奨励賞の個人賞を受賞した者は受賞後10年程度経過していることが望ましい．必要に応じてプレゼンテーションや実地での審査がある．

学術賞（JSTP Medal for Scientific/Technological Achievement）

塑性加工の分野における学問または技術に関して優れた研究業績を挙げた個人もしくはグループ．ただし業績の内容が公開できること．個人の場合は申請時において目安として45歳までが望ましい．新進賞を受賞した者は受賞後8年程度経過していることが望ましい．

技術開発賞（JSTP Medal for Innovative Technology）

塑性加工の分野において独創性のある特定の技術または材料・機械・製品を開発し，優れた業績を挙げた個人もしくはグループ．ただし業績の内容が公開できること．以下の 3 つの部門に分けて募集･審査する．

(1)一般

(2)中小企業(申請者が中小企業所属であり，連名者に大企業所属の者を含まないこと．中小企業とは，資本金が 3 億円以下，または従業員が 300 名以下の会社)

(3) 戦略分野（2025 年度から 2027 年度までは「GX に貢献する生産技術や製品の開発」)．

新進賞（JSTP Young Researchers Award）（昭和 57 年度より(一社)日本鉄鋼連盟からの学会賞基金による）

塑性加工分野における学問または技術に関して発展性に富み，将来に活躍が期待される新進気鋭の個人．受賞者の年齢は原則として 35 歳までが望ましい．（１）一般（博士課程後期を含む）と（２）留学生に分けて募集・審査する．

学生奨励賞（JSTP Students Award）（故福井伸二先生(平成3年度より)と故宮川松男先生(平成8年度より)のご寄付による）

学生奨励賞は，塑性加工関連の勉学・研究に精勤し，所期の学術成果を挙げ，将来が嘱望されている当該年度修了・卒業予定の優秀な学生会員―「(1)修士(博士前期課程)，(2)学部・高専専攻科，(3)高専・短大」に贈られる．特に修士は学会発表を積極的に行うことが望ましい．なお，審査に当っては上記(1)～(3)のカテゴリ毎に評価を行う．推薦は研究指導者の推薦による．ただし原則として各カテゴリにおいて一研究室　一名とする．

功労賞（JSTP Distinguished Contribution Award）（昭和57年度より日本鉄鋼連盟からの学会賞基金による）

本学会の目的達成に対し，多大の貢献のあった 65 歳以上（2027 年 3 月 31 日時点）の個人．名誉会員および会田技術賞(個人)，学会大賞(個人)の受賞者は除く．

教育賞（JSTP Education Award）（故工藤英明先生（平成 10 年度より）と時澤 貢先生（平成 17 年度より）のご寄付による）

大学・高専・工業高校・中学校・小学校の教育現場，または公的研究･試験機関を含め生産技術・ものづくりに関連した分野で，人材育成など教育に多大の功績のあった個人またはグループ．

匠賞（JSTP Skilled Experts Award）

工場，大学・学校，研究所において，卓越した顕著な技術・技能により優れた技術開発，研究成果および製品製造に大いに貢献した個人（（１）若手（原則として 45 歳までが望ましい），（２）多年にわたり貢献した者）．

精密塑性加工国際学術賞（JSTP International Prize for Research & Development in Precision Forming）（平成8年度より㈱ニチダイからのご寄付の学会賞基金による）

募集，審査，贈賞は国際塑性加工会議(ICTP)の際に行う．

JSTP International Award for Young Researchers（2023 年度より Professor Altan よりの寄贈金メダルによる）

募集，審査，贈賞は国際塑性加工会議(ICTP)の際に行う．

Ⅱ．表彰の方法：

審査の上，賞状と賞牌（教育賞，学生奨励賞は記念品）を贈る．審査は日本塑性加工学会において行い，贈賞は春に開催する贈賞式にて行う．ただし，学生奨励賞については，2027年3月に本人宛に発送する．

Ⅲ．応募方法：

推薦または本人よりの申請による公募とします（論文賞には論文賞推薦委員会から推薦された論文を加えます）．申請手順および応募書類の作成方法は、本会ホームページhttp://www.jstp.jp/のトップページ左欄「学会賞」を参照．

必要事項を記入し捺印した応募書類について，HP 応募フォームより、pdf ファイル 1 部を提出してください．

Ⅳ．応募の要件：

応募者または応募団体は以下の会員要件を満足することが必要である．

賞の種類	応募時	受賞時
論文賞	－	－
学会大賞	グループの場合は筆頭者が正会員，もしくは筆頭者の所属している法人が賛助会員	グループ全員が正会員
	個人の場合は正会員	正会員
学術賞	グループの場合は筆頭者が正会員，もしくは筆頭者の所属している法人が賛助会員	グループ全員が正会員，もしくはそれぞれの所属している法人が賛助会員
	個人の場合は正会員	正会員
技術開発賞	グループの場合は会員非会員を問わない	グループ全員が正会員，もしくはそれぞれの所属している法人が賛助会員
	個人の場合は正会員	正会員
新進賞	－	正会員
学生奨励賞 カテゴリ(1)	学生会員	－
学生奨励賞 カテゴリ(2), (3)		卒業後に本会に入会することが望ましい．
功労賞	正会員	正会員
教育賞	－	－
匠賞	－	－
精密塑性加工国際学術賞	－	－
JSTP International Award for Young Researchers	－	－

Ⅴ.提出書類: 本会所定の推薦・申請書 および業績概要に加えて，各賞ごとに下記書類を追加提出してください. 提出書類は１件について，必要事項を記入し捺印した応募書類について，HP 応募フォームより、pdf ファイル１部を提出してください.

①学会大賞，学術賞，技術開発賞：業績説明書，役割分担表，発表論文・特許リスト，補足資料(いずれも様式自由)

②新進賞と学生奨励賞：業績説明書，発表論文・特許リスト，代表論文

ただし、学生奨励賞に関して(2)学部、高専専攻科、(3)高専・短大のカテゴリーに付いては、論文リストは不要とする.

③教育賞と匠賞：業績説明書

注：詳細は「応募書類の作成について」をご参照下さい.

Ⅵ. 提出締切日:　2026年8月31日必着

（但し論文賞は、2026年9月30日、学生奨励賞は、2026年11月30日）

Ⅶ. 提 出 先: 〒105-0012　東京都港区芝大門1-3-11 Y・S・Kビル4F

一般社団法人 日本塑性加工学会 電話 (03)3435-8301 FAX (03)5733-3730

以上